

# 三条市における巨樹・巨木の調査

第1次調査 平成15年8月31日

第2次調査 同年11月 9日

第3次調査 同年11月19日

第4次調査 平成16年4月 3日

ノジコの会



2003.11.18

## トリムの森の樅

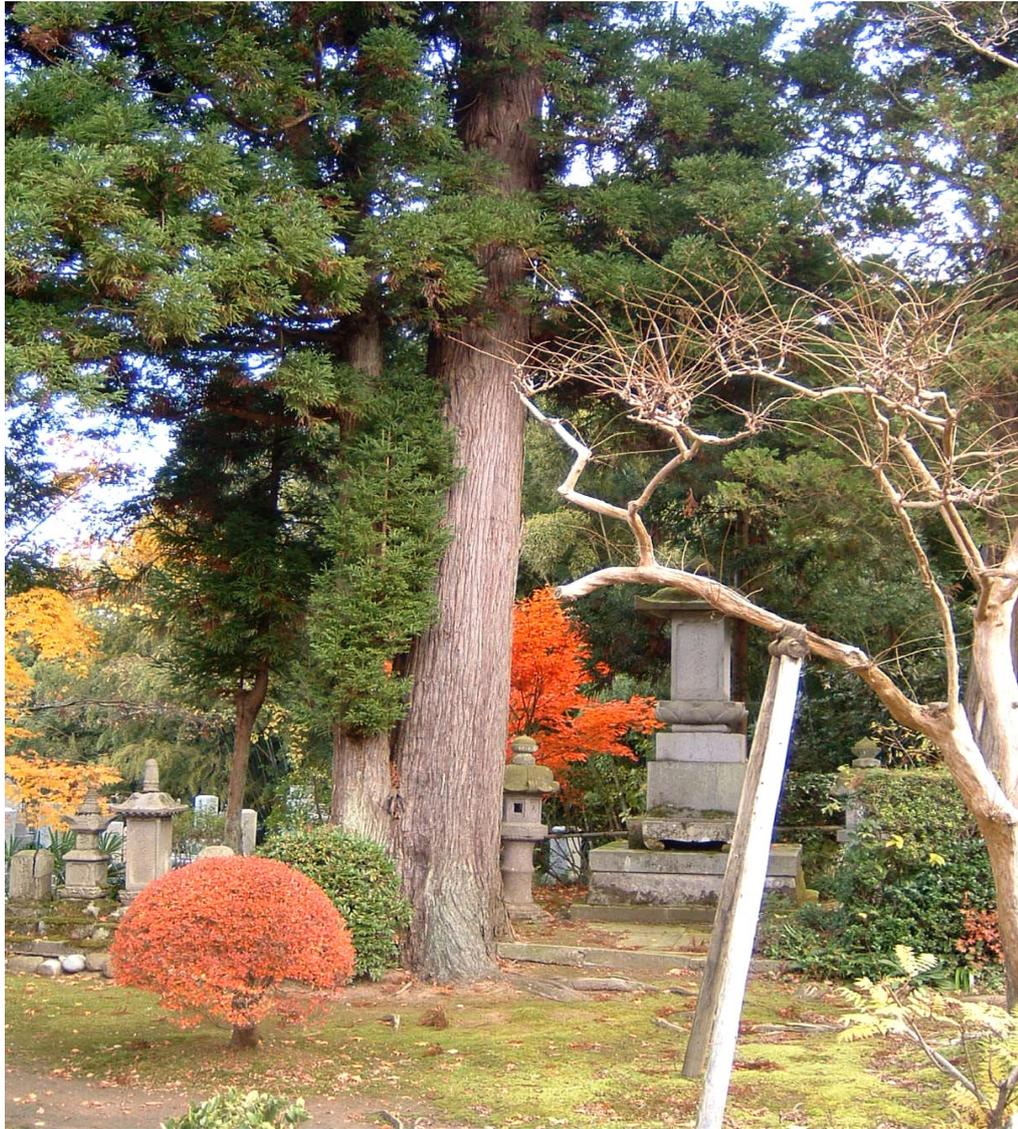
樹種/モミ(樅) 幹周り/3.71m

所在地/大字月岡6117番地3 トリムの森内

トリムの森のモミは、トリムの森の登り口(東側)と日本庭園との間の道路の、すぐ脇に立っている。ここは旧跡山ノ神の表示が残されており、昔から地元の人々に親しまれてきたことがわかる。



市内循環バス停市民球場から徒歩約5分



2003.11.19

## 海蔵院の杉

樹種/スギ(杉) 幹周り/3.90m

所在地/大字如法寺404番地 真言宗海蔵院境内

この杉は、1mを過ぎたところから2つに枝分かれしている。三条市内の巨木の中では珍しい。ちなみに、ここを訪れたら、裏手の山を辿って行ってみたいほうがよい。古い石仏などが苔むして、まるで鎌倉あたりの古い歴史の山道を歩いているような気がして、意外な趣きと発見がある。



市内循環バス停市民球場から徒歩約5分



2003.11.18

## 如法寺八幡社の大杉

樹種/スギ(杉) 幹周り/4.35m 高さ/31m  
 所在地/大字如法寺157番地 如法寺八幡社  
 三条市指定文化財(平成2年1月29日指定)

如法寺八幡社の大杉は、旧県道から山手に約250m入り、さらに250段余りの階段を登っていったところに立っている。昼なおうす暗い場所にたたずんでいると時間の観念がなくなってくるような不思議な場所である。



市内循環バス停市民球場から徒歩約15分



2003.11.18

## 如法寺八幡社の樅

樹種/モミ(樅) 幹周り/3.26m

所在地/大字如法寺157番地 如法寺八幡社

如法寺八幡社の大杉のすぐ脇に、鳥居を守るように鎮座している。調査に行った日、地元のボランティアの人たちが大勢で掃除をしに来ていた。地元で大切にされているのだろう。大杉と並ぶと、ここはさすがに陽の当たりが少なく、写真に撮れたのは3回目の時だった。



市内循環バス停市民球場から徒歩約15分



2003.11.18

## 西明寺の樅

樹種/モミ(樅) 幹周り/3.02m

所在地/大字吉田1416番地 曹洞宗西明寺境内

西明寺は、実は昭和56年3月27日に新潟県指定文化財に指定された大モミジで有名であるが、残念ながら数年前に枯死してしまった。その大モミジは寺の裏側に痛々しい軀体を残していた。このモミは大モミジを訪ねた時の思いがけない収穫物である。



三條見附線バス停金子から徒歩約15分



2003.11.18

## 中沢宅の樺

樹種/ケヤキ(樺) 幹周り/3.63m

所在地/東本成寺9番18号 中沢禎吉宅敷地内

唯一の一般住宅での幹周り3mを越す巨木。  
しかし、このケヤキはコブもあり、また根元が盛り土となっていて、測る位置によって大きな違いがあり、幹周り5.00mとしている調査もある。しかし、いずれにしても、個人所有の立派な巨木である。



市内循環バス停西中から徒歩約5分



2003.11.18

## 本成寺の榎

樹種/エノキ(榎) 幹周り/3.00m

所在地/西本成寺1丁目14番 稲荷神社境内

本成寺といっても「赤門」脇の、稲荷神社の境内にある。葉の茂る頃はまさに亭々という具合に茂っている。周囲には実生のエノキ、ツバキ、シロダモなどが芽を出し始めていた。



市内循環バス停本成寺黒門前から徒歩約5分



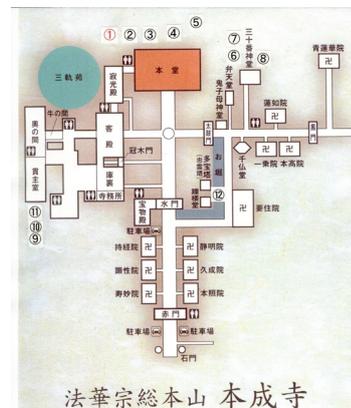
2003.11.18

## 本成寺の櫨①

樹種/ケヤキ(櫨) 幹周り/4.00m

所在地/西本成寺1丁目1番20号 法華宗本成寺境内

法華宗総本山の本成寺の、本堂と寂光院の間の渡り廊下の下をくぐって最初に左側に聳えるのが、このケヤキである。



法華宗総本山 本成寺

市内循環バス停本成寺黒門前から徒歩約5分



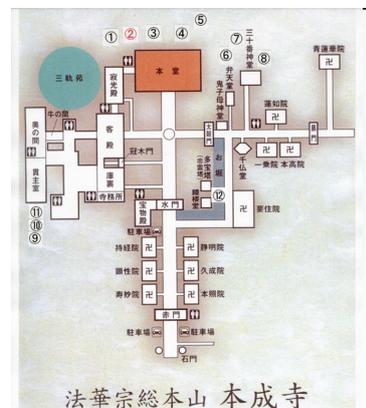
2003.11.18

## 本成寺の櫨②

樹種/ケヤキ(櫨) 幹周り/3.65m

所在地/西本成寺1丁目1番20号 法華宗本成寺境内

前記①の右手にある櫨。3.65mもあれば他の場所では見栄えがするのにも、この本成寺では、まだ小さいほうに見えるのが、人間の心理としておかしい。



法華宗総本山 本成寺  
市内循環バス停本成寺黒門前から徒歩約5分



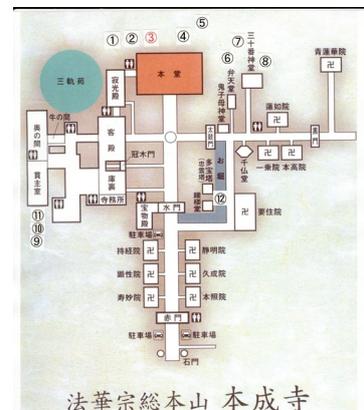
2003.11.18

### 本成寺の櫨③

樹種/ケヤキ(櫨) 幹周り/4.52m

所在地/西本成寺1丁目1番20号 法華宗本成寺境内

前述の①と②の右側、本堂のほぼ左後ろ側にあり、無縁塔を守るように立っている。普通4mを超えると相当大きいと感じるがこの本成寺で必ずしも大きく見えないのは、歴史の深さのためからか。



市内循環バス停本成寺黒門前から徒歩約5分



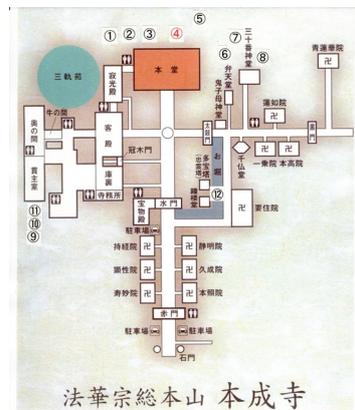
2003.11.18

### 本成寺の櫨④

樹種/ケヤキ(櫨) 幹周り/4.20m

所在地/西本成寺1丁目1番20号 法華宗本成寺境内

本堂のほぼ後ろにある。歴代貫主の墓を覆いかぶさるようにして聳えるのを見ると、何か不気味なものを感じてしまう。



法華宗総本山 本成寺

市内循環バス停本成寺黒門前から徒歩約5分



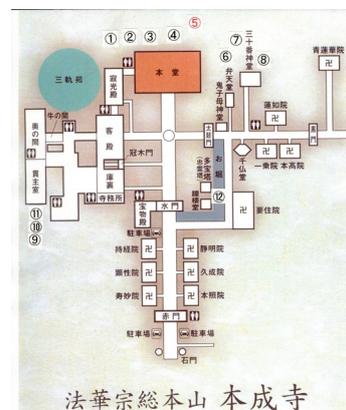
2003.11.18

## 本成寺の櫨⑤

樹種/ケヤキ(櫨) 幹周り/3.40m

所在地/西本成寺1丁目1番20号 法華宗本成寺境内

歴代貫主墓のほぼ後ろのほうにある。ほかのケヤキと比べて、一本だけ離れており、孤高の感じもあるが、前記のケヤキの印象が強すぎるのか、何の造作もない素直な姿のケヤキである。



市内循環バス停本成寺黒門前から徒歩約5分



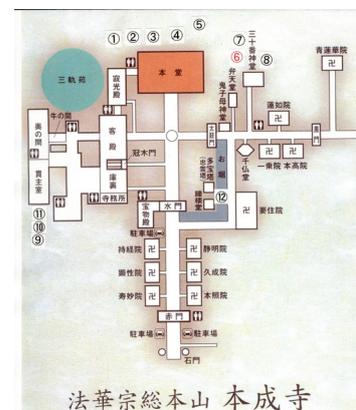
2003.11.18

## 本成寺の櫨⑥

樹種/ケヤキ(櫨) 幹周り/3.20m

所在地/西本成寺1丁目1番20号 法華宗本成寺境内

本堂の裏手から三十番神堂に向かっていくと最初に右手に見えるのがこのケヤキである。



市内循環バス停本成寺黒門前から徒歩約5分



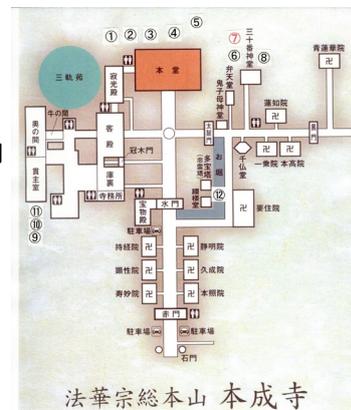
2003.11.18

## 本成寺の榎⑦

樹種/ケヤキ(榎) 幹周り/3.35m

所在地/西本成寺1丁目1番20号 法華宗本成寺境内

三十番神の裏手、前記ケヤキ⑥の左手にある。  
 ここまで本成寺のケヤキを見てくると、少しくらいのケヤキを見ても驚かなくなる。



法華宗総本山 本成寺  
 市内循環バス停本成寺黒門前から徒歩約5分



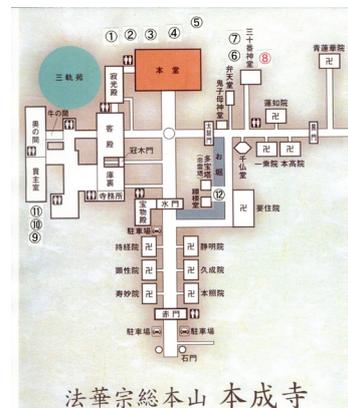
2003.11.18

## 本成寺の檜⑧

樹種/ケヤキ(檜) 幹周り/3.10m

所在地/西本成寺1丁目1番20号 法華宗本成寺境内

三十番神の裏手、北西側にある。3mないだろうと皆の意見だったが、測ってみると確かに3mを超える。かなり目が麻痺してしまった。



市内循環バス停本成寺黒門前から徒歩約5分





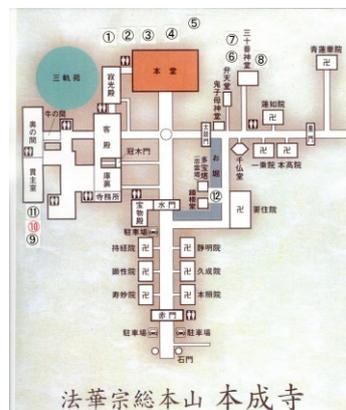
2003.11.18

## 本成寺の櫨⑩

樹種/ケヤキ(櫨) 幹周り/4.17m

所在地/西本成寺1丁目1番20号 法華宗本成寺境内

貫主室から見える中庭からは、前記⑨のほかなど計3本のケヤキが見える。本種には、測定高さの1.2mの箇所にはコブがあり、そのため大きい幹周りとなっている。しかし、コブがなくとも立派なケヤキである。



市内循環バス停本成寺黒門前から徒歩約5分



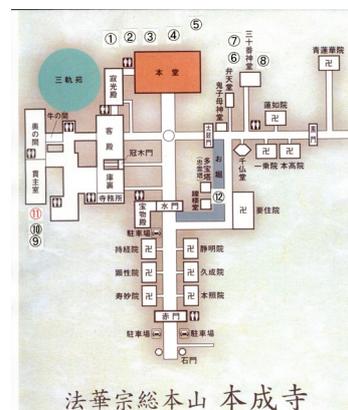
2003.11.18

## 本成寺の榎⑪

樹種/ケヤキ(榎) 幹周り/5.05m

所在地/西本成寺1丁目1番20番 法華宗本成寺境内

貫主室から見えるケヤキのひとつ。これが一番貫主室に近い。中がウロとなっており怪奇な様相を呈している。この庭のケヤキはすべて特徴があり、一回出会ったら忘れられないものばかりである。



市内循環バス停本成寺黒門前から徒歩約5分



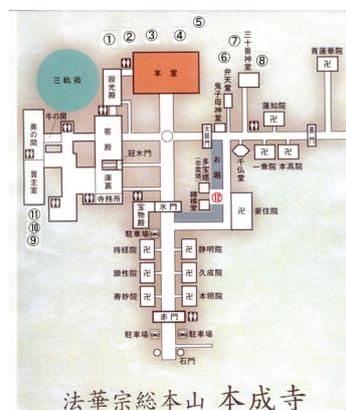
2004.4.3

## 本成寺の櫨⑫

樹種/ケヤキ(櫨) 幹周り/3.13m

所在地/西本成寺1丁目1番20番 法華宗本成寺境内

このケヤキは前年調査の際には見つけれなく、翌年樹高を調べに行ったとき発見したもの。鐘楼堂脇の堀の水面に静かに影を落としている。



市内循環バス停本成寺黒門前から徒歩約5分



2003.11.18

## 八幡様の櫨①

樹種/ケヤキ(櫨) 幹周り/3.33m  
 所在地/八幡町12番18号 八幡宮境内

三条市民になじみの深い八幡様だが、本種は鳥居をくぐり、手洗所の横手の倉庫の裏にあって、なかなかわかりにくい。平成17年5月に八幡様が再建されると、予定では宝蔵の裏手となるが、これも市民の宝と認められるようになってほしい。



バス停本町6丁目から徒歩約5分



2003.11.15

## 八幡様の櫓②

樹種/ケヤキ(櫓) 幹周り/3.15m  
所在地/八幡町12番18号 八幡宮境内

このケヤキは、神楽殿の横にある。前記のケヤキが黄色く黄葉するのに対し、こちらのケヤキは赤く紅葉する。街路樹のケヤキもそうだが、同じ場所に育つ同品種なのに色が異なるのは、素人からすれば不思議である。



バス停本町6丁目から徒歩約5分



2003.11.15

## 新保諏訪神社の銀杏

樹種/イチョウ(銀杏) 幹周り/3.37m

所在地/東新保4番 新保公園・諏訪神社境内

この公園の一番奥にある。ここには、このイチョウの他にも、次に紹介するケヤキ、また環境庁の巨樹・巨木の基準としている3mには達しないが、サイカチの大きな木も聳えている。



信越線三条駅から徒歩約10分



2003.11.15

## 新保諏訪神社の櫨

樹種/ケヤキ(櫨) 幹周り/3.23m

所在地/東新保4番 新保公園・諏訪神社境内

この公園付近は、昔の五十嵐川の氾濫で残った沼地であった。今は埋め立てられ住宅地となったが、巨樹たちは人間の営みの変遷をずっと見続けてきたに違いない。



信越線三条駅から徒歩約10分



2003.11.15

## 柳沢諏訪神社の杉①

樹種/スギ(杉) 幹周り/4.17m

所在地/大字柳沢1538番地 諏訪神社境内

市内巡回バスの柳沢神社前で降り、神社の石段を上り詰めると、二本の杉に守られた諏訪神社がある。鳥居をくぐって、二本の大きな樹木に守られていると、いかにも鎮守様といった気持ちになるのは日本人だからだろうか。



市内循環バス停柳沢神社前から徒歩約3分



2003.11.15

## 柳沢諏訪神社の杉②

樹種/スギ(杉) 幹周り/4.04m

所在地/大字柳沢1538番地 諏訪神社境内

向かって右側の杉のほうが幹周りで約10センチほど大きい。おそらく同時期に植えられたものだろう。一緒に植えられたものが、ともに健全に育っていることはなんとなくうれしく感じる。



市内循環バス停柳沢神社前から徒歩約3分



2003.11.15

## 圓光寺の樅

樹種/モミ(樅) 幹周り/3.01m

所在地/大字上保内丙122番地 曹洞宗圓光寺境内

ここも、柳沢の諏訪神社と同様、山門をくぐると両側に2本の大きな木が聳えている。しかしながら残念なのは、右側のモミが2.83mと、巨樹・巨木の基準に適合しないことであり、まったく残念である。

これもおそらく同時期に植えられたものであろう。



市内循環バス停保内公園前から徒歩約3分



2003.11.19

### 小布勢神社の杉①

樹種/スギ(杉) 幹周り/4.46m

所在地/大字上保内丙1283番地1 小布勢神社境内

ここの杉は、注連縄がはりめぐらされ、いかにも巨木といった印象を持たせる木である。ただ、上部の枝のほうはやや元気がないように見られるが、三条の杉で一番太く、大切に保存したいものである。



JR 信越線保内駅から徒歩約10分



2003.11.19

## 小布勢神社の杉②

樹種/スギ(杉) 幹周り/3.04m

所在地/大字上保内丙1283番地1 小布勢神社境内

ここで紹介した杉は、写真手前のもので、奥のものは次に紹介する3.00mちょうどのものである。そんなに大きな境内でもないのに3本も巨木が残っているのは、とても心強い。



JR 信越線保内駅から徒歩約10分



2003.11.19

### 小布勢神社の杉③

樹種/スギ(杉) 幹周り/3.00m

所在地/大字上保内丙1283番地1 小布勢神社境内

ここの杉はちょうど巨樹の要件3.00mを満たしている。そんなに大きいものとは思えないが、しかし2本も道路のほうに覆いかぶさっていると、圧迫感もある。



JR 信越線保内駅から徒歩約10分

[参考]



2003.11.15

## 八幡公園のプラタナス

樹種/プラタナス 幹周り/2.73m

所在地/八幡町12番 八幡公園(八幡宮隣)

三条では珍しいプラタナスの大木。残念ながら巨樹・巨木の要件3.00mを満たしていないが、参考として掲載した。以前、この公園に幹周り3.65mあったポプラがこの調査の時には、切り倒されていた。



バス停本町6丁目から徒歩約5分



2003.11.15

## 新保諏訪神社のサイカチ

樹種/サイカチ(皂莢) 幹周り/2.55m

所在地/東新保4番 新保公園・諏訪神社境内

サイカチはよく人家周辺に植えられるというが、果実にサポニンを含むので、昔は洗濯石鹸の代用品として使ったといわれる。また、川沿いなど水辺に多いとされているが、ここが昔の五十嵐川の氾濫で残った沼地であったことの証であろう。幹周り3.00m以上の巨木ではないが、珍しいので参考として掲載した。



信越線三條駅から徒歩約10分



2003.11.15

## 圓光寺の樅

樹種/モミ(樅) 幹周り/2.83m

所在地/大字上保内丙122番地 曹洞宗圓光寺境内

このモミは、先に紹介したものの右側のものである。  
モミの巨木自体は、ほかにも多く存在して珍しいもの  
ではないが、紹介しておきたいため掲載したものであ  
る。



市内循環バス停保内公園前から徒歩約3分

